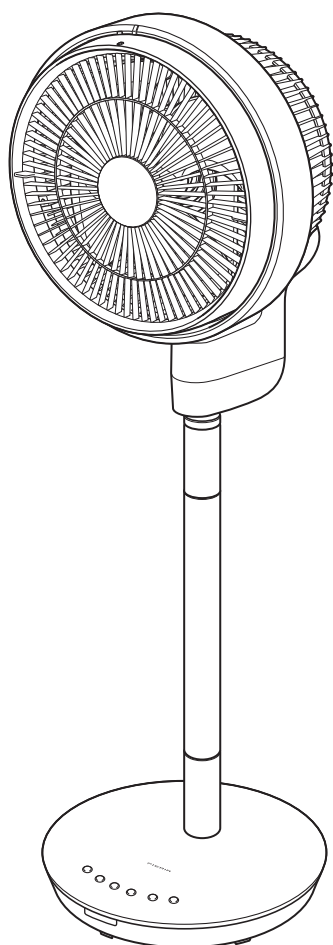


P!ERIA

DCリビングサーキュレーター FCV-230D

取扱説明書・保証書



このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあと、もいつでも見られるように大切に保存してください。

※ 製品はお客様組み立て商品となっています。

も く じ

安全上のご注意	P1 ~ P2
各部の名称とはたらき	 P3
組み立てかた	 P4
正しい使いかた	 P5 ~ P11
お手入れと保存	 P12 ~ P13
修理・サービスを依頼する前に	P14
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について	 P18
アフターサービスについて	裏表紙
保証書	裏表紙

仕 様

電 源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	21W 50/60Hz
電源コード長さ	約 1.8 m
外形寸法	約 幅 30 × 奥行き 30 × 高さ 90 cm (中間ポール使用) 約 幅 30 × 奥行き 30 × 高さ 60 cm (中間ポール不使用)
質 量	約 4.7 kg (本体のみ・リモコン含まず)

- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)

図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

警告

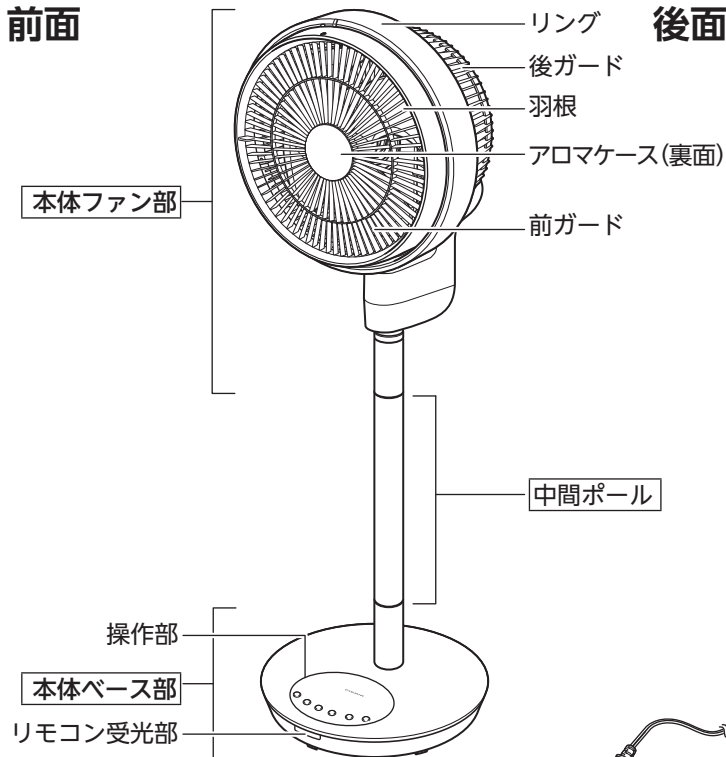
 禁止	交流100V以外では使用しない。 火災・感電の原因になります。	 使用禁止	雷が鳴りだしたら、電源プラグに 触れない。 感電の原因になります。	 指示	リモコンには磁石が内蔵されているので、扱いには十分注意する。 ペースメーカーなどを使用されている人が胸ポケットに入れたり、磁気に弱いもの(磁気カードなど)の近くに置いたりしないでください。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。		異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用を停止する。 火災・感電の原因になります。	 プラグを抜く	使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。
	前ガードを取り付けずに運転しない。 けが・故障の原因になります。	 指示	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。		製品の組み立てや取りはずし、お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。		電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。 修理は販売店またはドウシシャお客様相談室(裏表紙参照)にご相談ください。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。 けが・感電の原因になります。		お手入れ後や組み立ての際、ガードをしっかりと固定する。 取り付けが不十分だったり、正しく組み立てられていないと、けが・故障の原因になります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。		リモコン用の電池からもれた液が目に入ったときは、こすらずに水で洗い流し、医師の診察を受ける。 失明や目に障害を負う恐れがあります。	 水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。

⚠ 注意

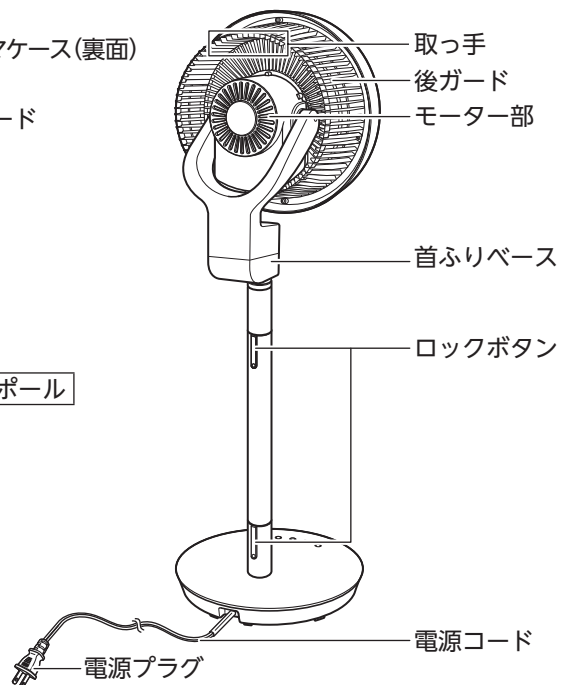
 指示	電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。 感電・ショート・電源コードの断線の原因になります。	 禁止	ガードの中やモーター部に指などを入れない。 けがの原因になります。	 禁止	リモコンの電池は指定以外の電池を使用しない。 液もれなどの原因になります。
	リモコンの電池は⊕ ⊖を正しく入れる。 間違えて入れると、故障するだけでなく、液もれや破裂の原因になります。		不安定な場所で使わない。 けが・故障の原因になります。		リモコンの電池は直射日光が当たる場所など高温になる場所に置かない。 液もれや破裂・火災などの原因になります。
	長時間使用しないときはリモコンの電池を抜く。 長時間入れたままにしておくと、液漏れによって内部を汚したり、破裂による火災やけがの原因になります。		髪をガードに近づけすぎない。 髪が巻き込まれ、けがをする恐れがあります。		
 禁止	リモコンを廃棄するときは、電池を抜く。 そのまま廃棄すると、思わぬ事故の原因になります。電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。	 禁止	次のようなところでは使わない。 ●コンロなど炎の近く ●引火性のガスがあるところ ●雨や水しぶきがかかるところ 変色・変形・炎の立ち消え・火災・感電の原因になります。		
	風をからだに、長い時間続けてあてない。 健康を害することがあります。		お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。		
	ベースを引きずらない。 床が傷つく原因になります。		首ふり動作中のサーキュレーターを無理に正面に向けない。 破損・故障・異音などの原因になります。		

各部の名称とはたらき

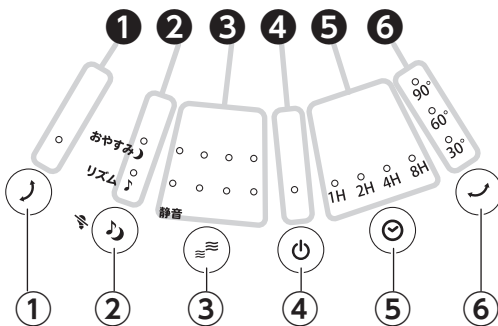
前面



後面



操作部



① 上下首ふりランプ

上下首ふりをしているときに点灯します。

② リズム/おやすみ風ランプ

リズム風、おやすみ風するとき、それぞれ点灯します。

③ 風量ランプ (8段階)

現在設定されている風量を表示します。

④ 電源ランプ

⑤ タイマーランプ (1H・2H・4H・8H)

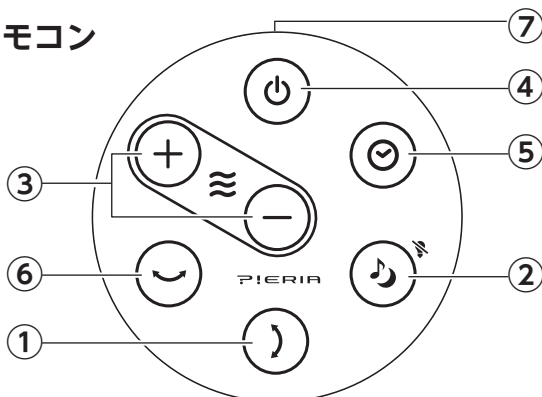
入・切タイマーがはたらくまでの時間を表示します。

⑥ 左右首ふりランプ (30°・60°・90°)

左右首ふりをしているときに点灯します。

首ふりの角度に合わせたランプが点灯します。

リモコン



① 上下首ふりボタン

上下首ふりの開始/停止をします。

② リズム/おやすみ風ボタン

リズム/おやすみ風機能の切り替えをします。長押し(3秒以上)で $\approx$ 消灯モードになります(5ページ)。

③ 風量ボタン

運転中、風量の切り替えをします。

④ 電源ボタン

運転の開始/停止をします。

⑤ タイマーボタン

入・切タイマーの時間を設定します。

⑥ 左右首ふりボタン

左右首ふりの開始/角度設定/停止をします。

⑦ 送信部 (リモコンのみ)

本体のリモコン受光部に向けてください。

組み立てかた

梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

本体ベース部	1 個	リモコン	1 個
本体ファン部（アロマケース取付済）	1 個	コイン形リチウム電池（CR2032）	1 個
中間ポール	1 個	交換用フェルト（アロマケースに 1 個・取付済）	4 個
		取扱説明書（保証書含む）	1 個

※お買い上げの際、製品の箱に入っていた包装部材は、シーズン終了後、製品を収納するときに必要ですので捨てないでください。



警告 羽根やガードを取り付けずに運転をしない。



注意 ・ガードや羽根をしっかりと固定してから、電源プラグをコンセントに差し込む。
・羽根のエッジなどでケガをしないよう、十分注意する。

1. 本体ベース部と中間ポール、本体ファン部を取り付ける

中間ポールの有無で高さを 2 段階に設定することができます。

■高くする場合

- ① 本体ベース部を安定した水平な場所に設置する。
- ② 本体ベース部に中間ポールを取り付ける。
- ③ 中間ポールに本体ファン部を取り付ける。

※取り付けるときは、②③時、中間ポール・本体ファン部の取り付け向きに注意する。

※本体ファン部・中間ポールを取りはずすときは、背面のロックボタン（下の○印）を押して取りはずします。

■低くする場合

- ① 本体ベース部を安定した水平な場所に設置する。
- ② 本体ベース部に本体ファン部を取り付ける。

※本体ファン部の取り付け向きに注意する。

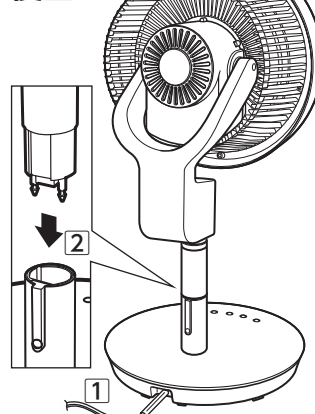
※高さを低くする場合は、中間ポールは使用しません。大切に保存しておいてください。

※本体ファン部・中間ポールを取りはずすときは、背面のロックボタン（下の○印）を押して取りはずします。

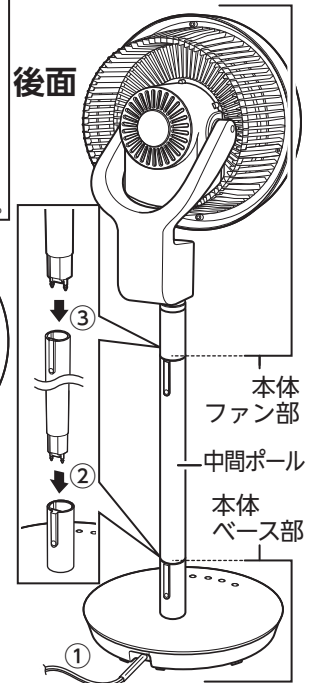
《接合部拡大図》



後面



低くする場合
高さ約60cm



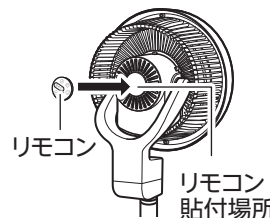
高くする場合
高さ約90cm



注意 接合部は、すき間のないように、しっかりと接合する。
きちんと取り付けられていないと、運転せず、転倒・故障の原因となります。

2. 上方向に軽く引っ張ってみて、はずれないことを確認する

ロックがかかっていないと、移動時に本体ベース部などが落下し、破損の原因になりますので、確実にロックされていることを確認してください。



リモコンの貼付場所

本機のリモコンにはマグネットが内蔵されており、モーター部の背面に取り付けておくことができます。使用していないときは、ここに貼り付けておいてください。

正しい使いかた

使用前の準備

リモコンに電池を入れる

1. リモコンを裏面にして、電池ケースをはずす

- ① リモコンの裏面に電池ケースがあります。
ツメを押しながら引き出してください。

2. 電池を入れる

- ② コイン形リチウム電池(CR2032)のプラス面を上にして、電池を入れます。
- ③ 電池を入れたら、そのまま電池ケースをスライドさせて電池ケースを入れて固定させます。

使用可能範囲

- ・本体リモコン受光部正面から直線で約5m
- ・本体リモコン受光部正面から左右に約30度
- ・リモコンと本体リモコン受光部の間に障害物がある場合は、リモコンが正常に動作しないことがあります。

本体の設置

1. 本体を安定した水平な場所に設置する

お手入れで前ガードを取りはずした場合、前ガードが正しく取り付けられていることを確認してください。



注意

リモコン内部に磁石が内蔵されているため取り扱いには十分注意する。

ペースメーカーなど使用されている方が胸ポケットに入れたり、磁気に弱いもの（磁気カードなど）の近くに置いたりしないでください。



警告

前ガードを取り付けずに運転をさせない。
事故・故障の原因になります。

2. 電源プラグをコンセントに差し込む 運転を開始／停止する

1. 運転を開始する

本体またはリモコンの電源ボタンを押してください。

- ・電源プラグをコンセントにつないで初めての運転では、風量1(静音)・首ふりなしで運転を開始します。
- ・それ以外のときは、前回運転を停止した風量・首ふり状態で運転を開始します(→メモリー機能)。

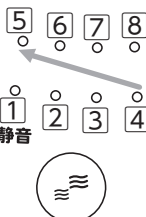
2. 風量を調節する

風量は8段階に設定することができます。本体の風量ボタン、またはリモコンの風量+ボタン、風量-ボタンで調節することができます。

- ・風量ボタン：押すたびに風量が1段階強くなり、風量8の次は風量1に戻ります。

- ・風量+ボタン：風量1段階強くします
- ・風量-ボタン：風量1段階弱くします

風量は本体の風量ランプで確認できます(右図で弱1～強8)。



メモリー機能

本体またはリモコンの電源ボタンを押すと、前回の設定で運転を始めます(風量、左右首ふり、上下首ふり)。

※電源プラグをコンセントからはずすと、初期設定にリセットされます。

[初期設定] 風量：1(静音)、首ふり：なし。

減光モード

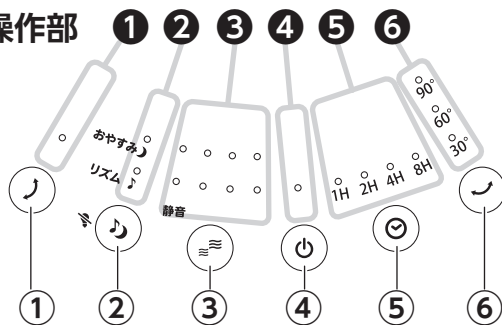
本体またはリモコンの操作をしてから約60秒経過すると、自動的に点灯・点滅しているランプが減光モードになります。再度、本体またはリモコンのボタンを押して操作が入力されるとともに減光モードが解除され、ランプの明るさは通常に戻ります。

消灯モード

本体またはリモコンのリズム／おやすみ風ボタンを長押し(3秒以上)すると、消灯モードが設定され点灯・点滅するランプを消灯させることができます。

再度、本体またはリモコンのボタンを押して操作が入力されるとともに消灯モードが解除され、ランプは通常の明るさで点灯・点滅します。

本体操作部



① 上下首ふりランプ

上下首ふりをしているときに点灯します。

② リズム／おやすみ風ランプ

リズム風、おやすみ風するとき、それぞれ点灯します。

③ 風量ランプ (8 段階)

現在設定されている風量を表示します。

④ 電源ランプ

⑤ タイマーランプ (1H・2H・4H・8H)

入・切タイマーがはたらくまでの時間を表示します。

⑥ 左右首ふりランプ (30°、60°、90°)

左右首ふりをしているときに点灯します。
首ふりの角度に合わせたランプが点灯します。

①) 上下首ふりボタン

上下首ふりの開始／停止をします。

② ♪ リズム／おやすみ風ボタン

リズム／おやすみ風機能の切り替えをします。長押し (3秒以上) で、消灯モードになります (5ページ)。

③ ≡ 風量ボタン

運転中、風量の切り替えをします。

④ ⏻ 電源ボタン

運転の開始／停止をします。

⑤ ⌚ タイマーボタン

入・切タイマーの時間を設定します。

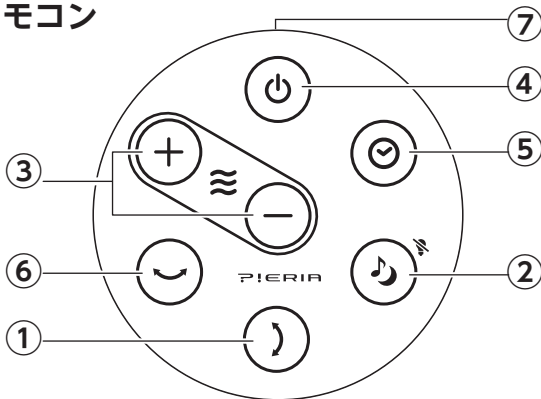
⑥ ~ 左右首ふりボタン

左右首ふりの開始／角度設定／停止をします。

⑦ 送信部 (リモコンのみ)

本体のリモコン受光部に向けてください。

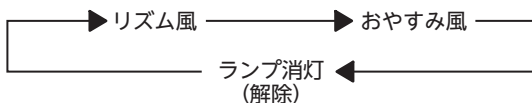
リモコン



3. リズム／おやすみ風機能を作動させる

運転中に本体またはリモコンの♪リズム／おやすみ風ボタンを押すと機能が切り替わります。

※ 設定されたリズム／おやすみ風ランプが点灯 (もしくは点滅) します。



4. 運転を停止する

本体またはリモコンの⏻電源ボタンを押してください。

5. 電源プラグをコンセントから抜く



警告

使用後は電源プラグをコンセントから抜く。
火災・故障の原因になります。

リズム／おやすみ風機能について

リズム風

風量に強弱をつけ、自然な風を再現します。

本体またはリモコンの≡風量ボタンを切り替えることで風量に変化します。

おやすみ風

風量に強弱をつけ、自然な風を再現します。

本体またはリモコンの≡風量ボタンで風量を切り替えると、次のように風量パターンが変化します。

強時 強リズム風 → 中リズム風 → 弱リズム風 (風量 6・7・8) 風と時間とともに変化します。

中時 中リズム風 → 弱リズム風 と時間とともに (風量 3・4・5) に変化します。

弱 (静音) 時 弱リズム風 と同じです。 (風量 1・2)

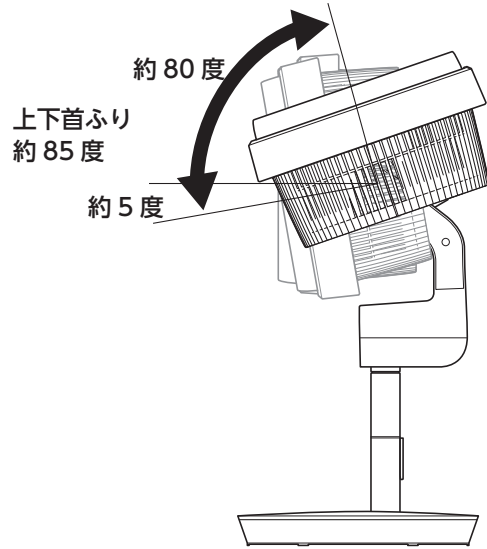
正しい使いかた（つづき）

角度の調節

本機は手動で角度を調節することができません。
電源を入れて、首ふり運転機能で上下左右の角度調節をして、適切な風向きにしてください。



注意
手動で角度調節をしない。
無理に角度調節をすると、故障の原因になります。首ふり機能を使用してください。



首ふり運転を開始／停止する

1. 首ふり運転を開始する

運転中に本体またはリモコンの) 上下首ふりボタンを押すと上下に、∩ 左右首ふりボタンを押すと左右に、首ふり運転を開始します。

- 上下・左右同時に首ふり運転させることが可能です。
- 本体の「上下首ふりランプ」「左右首ふりランプ」で首ふり運転の確認をすることができます。
- 首ふり運転中に電源を切ると、再度電源を入れて運転を開始したときに首ふり運転の設定が継続されます（コンセントから電源プラグを抜いた場合を除く）。

上下の首ふり

運転中に本体またはリモコンの) 上下首ふりボタンを押すと、上下首ふり運転を開始します。

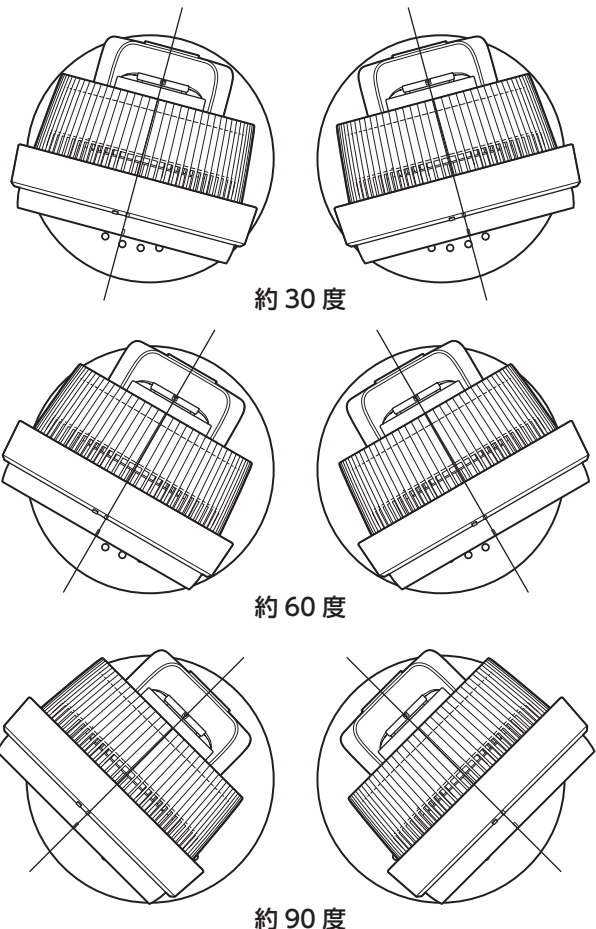
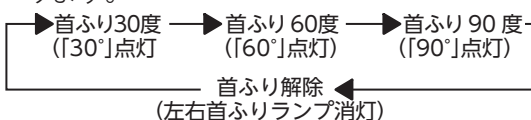
- 上方向約 80 度、下方向約 5 度、合計 85 度の範囲で上下に首をふります。
- 本体の) 上下首ふりランプで首ふり運転の確認をすることができます。
- ファン部のみが動きます。

もう一度) 上下首ふりボタンを押すと、上下首ふり運転を停止します。

左右の首ふり

運転中に本体またはリモコンの ∩ 左右首ふりボタンを押すと、左右に首ふり運転を開始（首ふり角度 30 度・60 度・90 度）します。

- ベース部より上の部分が動きます。
- 本体の左右首ふりランプで首ふり運転の確認をすることができます。
- ∩ 左右首ふりボタンを押すたびに、首ふりの角度が変わり、左右首ふりランプが切り替わります。

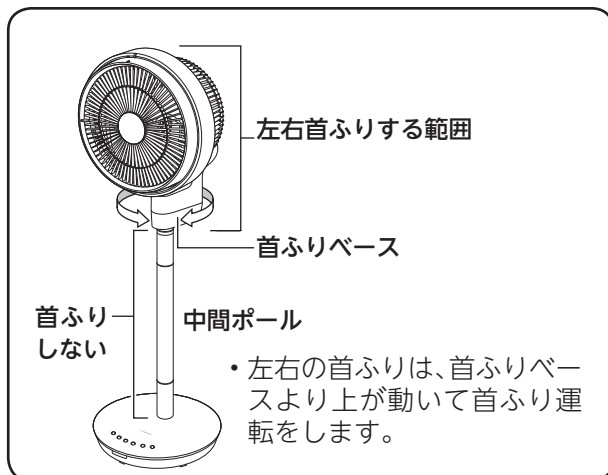


左右首ふりの1回目は、本機内で現在の角度など確認するため、正しく首ふりを開始するまでに時間がかかります。かかる時間は、その首ふり開始角度によって変わります。

- 左右首ふり運転を停止するときは、左右首ふりボタンを何度か押して、左右首ふりランプが消灯したことを確認してください。

2. 首ふり運転を停止する

再度、本体またはリモコンの上下首ふりボタンを押す、左右首ふりボタンを何度か押して左右首ふりランプを消灯させると首ふり運転を停止します。



⚠注意

- 首ふり動作中に無理に向きを変えない。無理に向きを変えると破損・故障・異音などの原因になります。
- 手で首ふり角度調節をしない。無理に角度調節をすると、故障の原因になります。首ふり機能を使用してお好みの角度で止めてください。

タイマーを設定する

切タイマーの設定

切タイマーを設定すると、設定した時間後に自動的に運転を停止させることができます。

1. 運転中にタイマーボタンを押して切タイマーを設定する

運転中に本体またはリモコンのタイマーボタンを押すと、タイマーランプが点灯し、切タイマーが設定されます。

切タイマーの動作時間は本体またはリモコンのタイマーボタンを押して設定することができます。

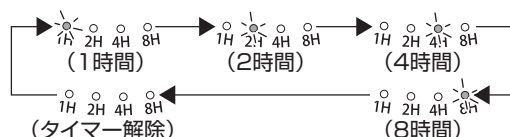
- タイマーランプを確認して運転が停止するまでの時間を設定してください。
- タイマーランプは切タイマーを設定したあと、切タイマーが作動するまでの時間を表示します。

2. 切タイマーをキャンセルする

本体またはリモコンのタイマーボタンを何度か押して、タイマーランプを消灯させます。

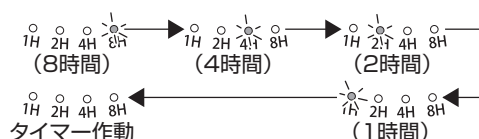
タイマーランプについて

タイマーランプは、本体またはリモコンのタイマーボタンを押すごとに下のように点灯ランプが切り替わります。



※タイマーをキャンセルするには、本体またはリモコンのタイマーボタンをタイマーランプが消灯するまで、何度か押します。

タイマーを設定したのち、時間の経過とともにタイマーランプが移り変わり、タイマーがはたらくまでの時間を表示します。



正しい使いかた（つづき）

入タイマーの設定

入タイマーを設定すると、設定した時間後に自動的に運転を開始させることができます。



入タイマーは、設定時間に動作しても問題ない環境であることを十分確認の上、使用する。
子供がいたり、本体が倒れるような強い風が入ってくるところや、周囲に火気があるなど、事故につながるような環境で入タイマーは使用しないでください。

1. 運転が停止している状態で、⊙タイマーボタンを押して入タイマーの時間を設定する

運転が停止している状態で本体またはリモコンの⊙タイマーボタンを押すと、タイマーランプが点滅し、入タイマーが設定されます。

- ・直前に使用していた風量ランプが（首ふりしていたときは首ふりランプも）点滅します（「メモリー機能」→5ページ）。

入タイマーの動作時間は⊙タイマーボタンを押して設定することができます。

- ・タイマーランプは入タイマーを設定したあと、入タイマーがはたらくまでの時間を表示します。

2. 設定した時間に運転する風量などを設定する

- ・本体の≡風量ボタン、またはリモコンの⊕風量＋ボタン、⊖風量－ボタンを押して、設定した時間に運転する風量を設定します。
- ・⌋上下首ふりボタン、⌋左右首ふりボタンを押して、設定した時間に運転する風を設定することができます。
- ・🌀リズム／おやすみ風ボタンを押して、設定した時間にリズム風を設定することができます。
- ・設定は、ランプの点滅により確認できます。

切り忘れ防止機能

入タイマーで運転を開始したときも、12時間連続運転すると、運転を自動的に停止します。

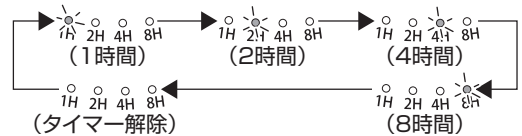
運転開始後、ボタンを最後に操作してから12時間経過すると、運転を停止します。

3. 入タイマーをキャンセルする

本体またはリモコンの⊙タイマーボタンを何度か押してタイマーランプを消灯させます。

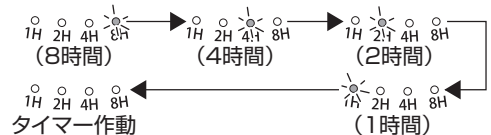
タイマーランプについて

タイマーランプは、本体またはリモコンの⊙タイマーボタンを押すごとに下のように点滅するランプが切り替わります。



※タイマーをキャンセルするには、本体またはリモコンの⊙タイマーボタンをタイマーランプが消灯するまで、何度か押します。

タイマーを設定したのち、時間の経過とともにタイマーランプが移り変わり、タイマーがはたらくまでの時間を表示します。



アロマオイルの使いかた

1. 前ガードをはずし、裏返してテーブルなどの上に置く

- ・前ガードの取りはずしかたは、「お手入れと保存」(12 ページ) を参照してください。
- ・万一アロマオイルまたはエッセンシャル (天然) オイルがこぼれたりしても問題ないように、新聞紙などを下に敷いてください。

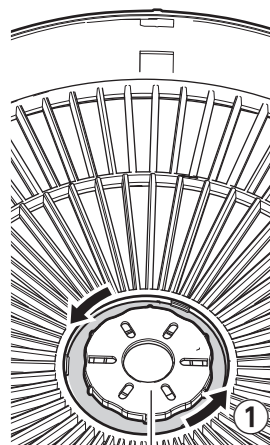
2. 前ガード裏に取り付けられているアロマケースからフェルトカバーを取りはずす

フェルトカバーを左に回して (反時計回り) ①、手前に引いて取りはずします②。

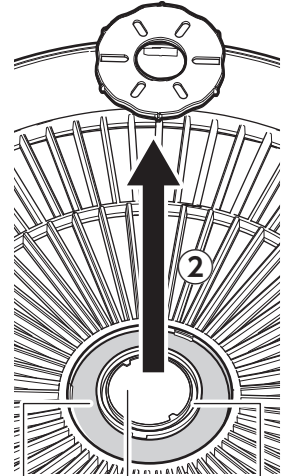
3. アロマケースに取り付けられているフェルトにアロマオイルを染み込ませる

アロマケースにフェルトが取り付けられていることを確認してください。市販のアロマオイルまたはエッセンシャル (天然) オイルを、外側にこぼれないよう注意しながら、2～3 滴フェルトに染み込ませます③。

前ガード裏

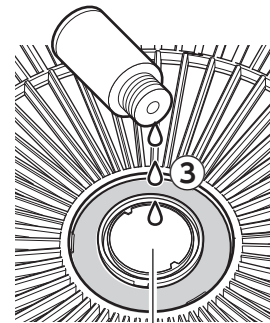


フェルトカバー

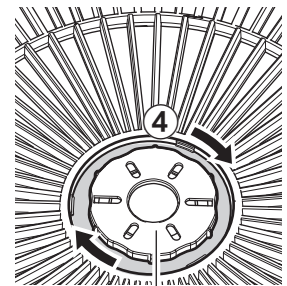


フェルト
パッキン アロマケース

アロマオイル、またはエッセンシャル (天然) オイル ※こぼれないように注意しながらフェルトに染み込ませてください



フェルト



フェルトカバー



注意

- ・アロマオイルまたはエッセンシャル (天然) オイルをアロマケースのフェルト収納部からあふれるまで入れすぎない。
- ・アロマオイルまたはエッセンシャル (天然) オイルがアロマケースやフェルトカバーの外側に付着した場合は必ず拭き取る。
- ・アロマケースやフェルトカバーの外側にアロマオイルまたはエッセンシャル (天然) オイルが付着した状態で取り付けない。
- ・本製品専用のフェルト以外は使用しない。本体の破損・故障の原因になります。
- ・フェルトカバーを取り付ける前に、パッキンが取り付けられていることを確認する。必ず前ガードとフェルトカバーの間に、パッキンがはさみこまれている状態にしてください。

4. アロマケースにフェルトカバーを取り付ける

フェルトカバーは、右に回して (時計回り) 取り付けてください④。

パッキンは、いつでもフェルトカバーと前ガードの間にはさみこむようにしてください。

5. 前ガードを元通りに取り付ける

(取り付けかたは、「お手入れと保存」(12 ページ) 参照)

6. 運転を開始する

5 ページの「運転を開始／停止する」の手順に従い運転を開始してください。アロマの香りを含んだ風をお楽しみいただけます。

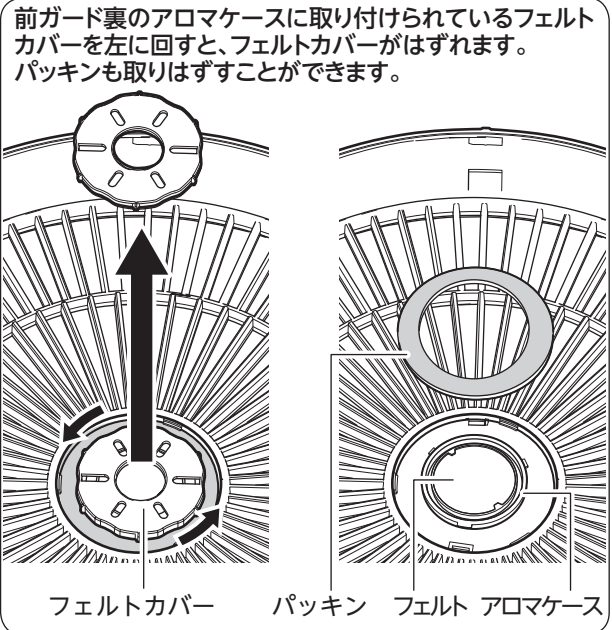
アロマオイル・エッセンシャル (天然) オイルなどについて

- ・炎に近づけないでください。
- ・子供の手の届かない場所に保存してください。
- ・衣服などに付着した場合は、大量の水で洗い流した後、自然乾燥させてください。乾燥機は使用しないでください。発火する恐れがあります。
- ・手に付着したときは、直ちに手を洗ってください。
- ・取り扱いについては、アロマオイル・エッセンシャル (天然) オイルに付属の取扱説明書をご覧ください。

正しい使いかた（つづき）

フェルトの交換

- ※ フェルトが汚れてきた場合や違う種類のアロマオイルまたはエッセンシャル（天然）オイルを使用する場合は、フェルトを交換してください。
- ※ フェルトの交換の際は、右図のようにフェルトカバーを左に回してはずします。その後、フェルトを取りはずし、フェルトを交換します。
- ※ このとき、パッキンも取りはずすことができますので、取りはずしてお手入れすることができます。
- ※ パッキンを取りはずしたら、かならず元に戻してください。パッキンは、毎回フェルトカバーと前ガードの間にはさみこむようにしてください。



- ※ フェルトは必ず右図のように、ツメの下になるように取り付けてください。パッキンが取り付けられていることを確認し（必ず取り付けてください）、フェルトカバーを右に回して取り付けてください。
- ※ フェルトはご購入時にアロマケースに取り付けているもの以外に3枚付属しています。フェルトは洗って再使用することができません。
- ※ 前ガード・アロマケースは中性洗剤などで洗い、水気をよく拭き取って、乾燥させてください。

パッキンは必ず取り付けしておきます。フェルトはセンターバッジ(アロマケース)のフェルト収納部から浮き・はみだしがないようにツメの下になるように取り付けてください。



フェルトカバーは、右に回して（時計回り）取り付けてください。



交換用フェルト

交換用のフェルトは別売しています。本体お買い上げの販売店またはドウシシャお客様相談室（裏表紙参照）にお問い合わせください。

※交換用のフェルトは別売しております。

交換用フェルト

商品名 フェルト（4枚） 型番 AF-ZE1

ドウシシャのパーツ購入はドウシシャマルシェのご利用が便利です。

ドウシシャのパーツ購入は **ドウシシャマルシェ**

DOSHISHA Marché
ONLINE STORE 公式オンラインストアで

<https://www.doshisha-marche.jp/>



ドウシシャマルシェがご利用できない場合は、お買い上げの販売店またはドウシシャお客様相談室（➡裏表紙）へお問い合わせください。

⚠注意

取りはずしたフェルトの扱いに注意する。
アロマオイル・エッセンシャル（天然）オイルはプラスチックを溶かしたりすることがあります。大切なものを取りはずしたフェルトに触れさせると、傷つけてしまうこともありますので十分注意してください。

お手入れと保存



お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
感電・火災・けがの原因になります。

お願い

- 住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。
- 本体に水をかけて洗わないでください。(感電・故障の原因になります。)

お手入れ

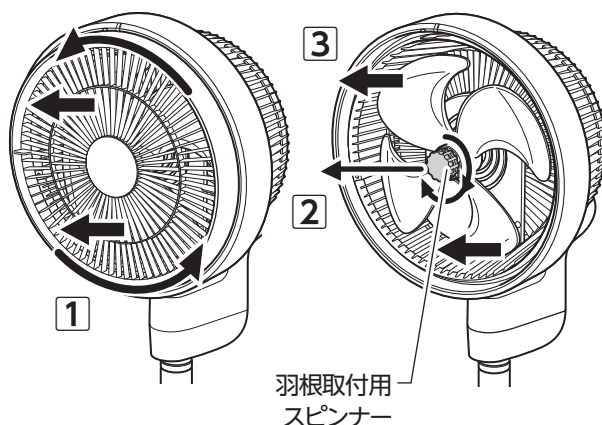
本体の汚れは、ぬるま湯か食器用中性洗剤に浸して、かたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください。(強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。)

羽根・前ガードの取りはずしかた

前ガード・後ガードの内側・羽根の汚れは、前ガードと羽根を取りはずして行ないます。

- ① 後ガードを押さえ、前ガードを左に回し(反時計回り)、手前に引いて取りはずしてください。
- ② 羽根を押さえ、羽根取付用スピナーを右に回して(時計回り)取りはずします。
- ③ 羽根を手前に引いて取りはずします。

前ガードと羽根を取りはずすと、内側からお手入れすることができます。前ガード(フェルト・フェルトカバーなどは必ず必要あり)・羽根は丸洗いすることができます。丸洗い後は、十分に乾燥させてください。



お手入れと保存（つづき）

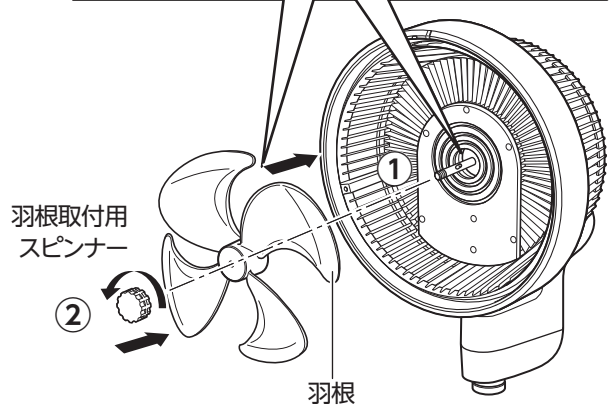
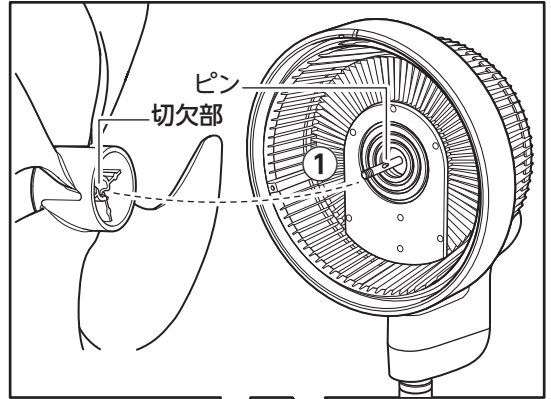
羽根・前ガードの組み立てかた

1. 羽根を取り付ける

- ① モーター軸にあるピンに羽根の切欠部を合わせて取り付ける。
- ② 羽根取付用スピナーの穴をモーター軸の先端に合わせる。羽根を押さえ、羽根取付用スピナーを左に回して、しっかりと羽根を締め付ける。

2. 前ガードを取り付ける

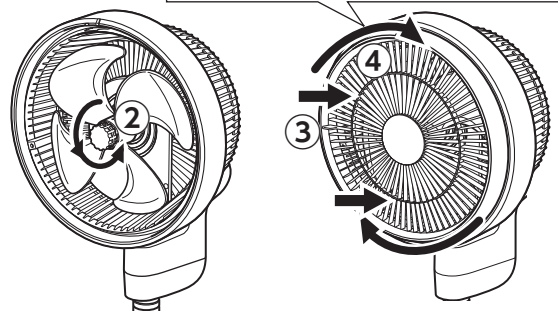
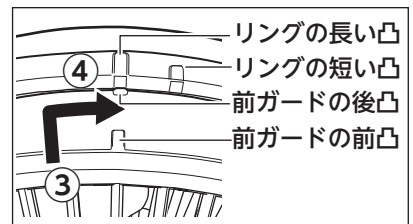
- ③ リングの上部にある長い凸に、前ガードの後凸を合わせて押し込む。
- ④ 前ガードの前凸とリングの短い凸が合うまで右に回して取り付ける。



	警告 前ガードを取り付けずに運転をしない。 事故・故障の原因になります。
	注意 ・前ガードをしっかりと固定してから電源プラグをコンセントに差し込む。 ・羽根のエッジ等でけがをしないよう、十分に注意してください。

保存のしかた

- ・お手入れのあと、よく乾燥させてください。
- ・ポリ袋などをかぶせ、お買い上げの商品が入っていた箱に入れて、湿気のない場所に保存してください。
- ・箱に入れるとき、前もって首ふり機能で首ふり方向を合わせるように調節することが必要です。
- ・長期保存をするときは、リモコンから電池を抜いておいてください。



修理・サービスを依頼する前に



警告

修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな？」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
羽根がまわらない	・電源プラグが抜けている	電源プラグをコンセントに差し込む
	・羽根が正しく取り付けられていない ・羽根がガードに当たっている	羽根やガードを正しく取り付ける （「羽根・前ガードの組み立てかた」 13 ページ）
	・本体ファン部・中間ポール・本体ベース部が正しく取り付けられていない	本体ファン部・中間ポール・本体ベース部を正しく取り付ける、または正しく取り付けなおす
運転時に大きな音がる	・前ガードが正しく取り付けられていない	前ガードを正しく取り付ける（「羽根・前ガードの組み立てかた」（13 ページ）参照）
手動で角度を調節できない	・本機は、手動で角度調節をすることができません	首ふり機能を使って角度調節をする
首ふりの中心が本体の中心とずれている	・無理に手動で角度調節をしてしまったため、首ふりの中心がずれた	電源プラグを抜いて、再度電源プラグを差し込み電源を入れる（首ふりの中心がリセットされます）
リモコンで操作できない	・リモコンの電池が切れている	新しい電池に交換する
	・コイン形リチウム電池が逆に入っている	コイン形リチウム電池を正しく入れる（「リモコンに電池を入れる」（5 ページ）参照）
	・リモコン収納部に取り付けたまま操作している ・リモコン受光部に向けて操作していない ・リモコン受光部までの距離が遠い	リモコンの送信部をリモコン受光部に向けて、使用可能範囲で操作する

長年ご使用のサーキュレーターはよく点検を

このような症状はありませんか？

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。



このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシシャお客様相談室に点検をご相談ください。

MEMO

MEMO

MEMO

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

（本体への表示内容）

※経年劣化により発火・けが等の事故の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。

	[製造年]（本体に西暦4桁で表示してあります） [設計上の標準使用期間]（本体に表示してあります）
	設計上の標準使用期間を超えて使用されますと経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

（設計上の標準使用期間とは）

※下表の標準的な使用条件の下で使用した場合に、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものではありません。

■ 標準使用条件〈JIS C9921-1による〉

環境条件	電圧	AC 100V	製品の取扱説明書による
	周波数	50Hz／60Hz	
	温度	30℃	
	湿度	65%	
	設置	標準設置	
負荷条件		定格負荷（風速）	
規定時間 など	運転時間	8h／日	
	運転回数	5回／日	
	運転日数	110日／年	
	スイッチ操作回数	550回／年	
	首振運転の割合	100%	

●「経年劣化とは」

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

故障・修理についてのご相談に関しては…

ドウシシャお客様相談室

☎0120-104-481

【受付時間】9:00~17:00（祝日以外の月~金曜日）

ドウシシャ福井家電カスタマーセンター 〒915-0801 福井県越前市家久町41-1

※ 商品名、品番をご確認のうえ、お電話をいただきますようお願いいたします。

※ お電話をいただいたときにお話いただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。

※ メールでのお問い合わせ、仕様などのご確認は、ドウシシャ公式オンラインストア【ドウシシャマルシェ】の家電サイトをご参照ください。

商品に関する Q&A

お客様サポートセンター

<http://www.doshisha.co.jp/support/faq/appliance.html>



ドウシシャのパーツ購入は

ドウシシャマルシェ

DOSHISHA Marché
ONLINE STORE 公式オンラインストアで

<https://www.doshisha-marche.jp/>



こちらの
QRコードを
読み込んで
ください